

令和6年度 第16回なら歴史まちづくり推進協議会 議事録				
開催日時	令和6年11月27日（水曜日）10時 00分から11時20分			
開催場所	奈良市役所 北棟6階 602会議室			
出席者	委 員	橋爪会長、今西委員、瀬渡委員、服部委員、藤岡委員、増井委員、大和委員 【計7名】		
	オブザーバー	国土交通省近畿地方整備局建政部計画管理課長 奈良県まちづくり連携推進課長（代理：係長） 奈良県文化財課長（代理：係長） 【計3名】		
	事務局	都市整備部：梅田部長、藤原次長 都市計画課：角井課長、郡課長補佐、袴田係長、小嶋主任、明石主務 奈良町にぎわい課：村上課長、北垣内主任、黒野主務 文化財課：松浦課長、宮崎課長補佐、山口課長補佐、石田係長、中村主事		
開催形態	公開（傍聴人0人）	担当課	都市計画課、奈良町にぎわい課、文化財課	
議題又は案件	＜報告事項＞ 1. 奈良市歴史的風致維持向上計画（第2期）の策定スケジュールについて 2. 奈良市歴史的風致維持向上計画（第1期）最終評価シートについて ＜協議事項＞ 奈良市歴史的風致維持向上計画（第2期）（案）について			
決定又は 取り纏め事項	奈良市歴史的風致維持向上計画（第2期）の策定スケジュールについて、報告した。 奈良市歴史的風致維持向上計画（第1期）最終評価シートについて、報告した。 奈良市歴史的風致維持向上計画（第2期）（案）について、協議をした。			
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等				
事務局 会長 一同 会長	1. 第2期 奈良市歴史的風致維持向上計画の策定スケジュールについて 説明（略） ただいまの説明につきまして、ご意見ご質問等はございませんか。 （無言） よろしいでしょうか。特にご意見ご質問がないということで、先へ進めさせていただきます。			

事務局 会長	2. 第1期 奈良市歴史的風致維持向上計画の最終評価シートについて 説明（略） ただいまの説明につきまして、何かご意見ご質問等はございませんか。 特に22ページの「協議会におけるコメント」に、委員の皆様のご発言が整理されておりますので、ご検討いただければと思います。
委員	9ページに、空き家が17件あったが歴史的風致形成建造物保存整備事業を機に利活用が促進されたとありますが、そのあと住まれていない、使われていない物件はないということでしょうか。
事務局	賃貸募集中なのかどうかわかりませんが、利用されていないというところがあります。窓にブルーシートが貼られているので、その家は利活用募集中か不明です。
委員	もったいないですね。一般的に募集されていればよいのですが。ありがとうございます。
会長	他いかがでしょうか。
委員	8ページの自己評価のところに、日本政府観光局（JNTO）のカテゴリーを取得したとありますが、カテゴリーはいくつか種類があると思います。カテゴリーのどれを取得したか確認したいのですが。
事務局	奈良町南観光案内所はカテゴリー2、京終駅観光案内所はカテゴリー1でございます。
委員	ありがとうございます。
会長	今のご質問は詳しく記載した方がよいということでしょうか。
委員	カテゴリーを取得したというのは一般の方にわかりにくいのかなという気がしました。
会長	事務局からの返答も踏まえ、少し詳しく書いた方がよいかもしれませんね。調整してください。
委員	22ページのコメントの中で、まちづくり団体の活動について書かれたところは、私が前回発言したことが元になっていると思いますが、少し表現を改めた方がよいと思います。私の発言の趣旨は、外部の人が客観的に団体を評価するということではなく、団体自身が認識する、確認するということで、歴史まちづくり全体のなかでその団体の活動がどのような役割を果たしているのかというところを認識できる機会があればという趣旨で発言させていただきました。よく活動していますねというような機会も一方では必要かもしれないです。
会長	具体的にどう書き換えたらいいですか。のちほど、事務局に提案いただく形をお願いします。
事務局	検討させていただきます。
委員	9ページの建物の修理について、どう活用されるか、実際に募集をどうされているのかが大事な点だと思います。建物を直して入居してもらうための条件がどんな形になるのか。古くなってくるとまた人が入らなくなることも想定されます。家は使わないと傷みが激しくなるでしょうが、直して景観を守るだけでは、また同じことになるのではないかと思います。直した建物に、どういう規制があって、入らな

	いのか、入ってもらえているのかを、明確にすることが必要だと思います。高齢者が家を出ていかれ、家を売却されたり、空き家になったり、民民でそれがされています。かたや、まちづくり事業の中で建物を直していますが、人が入っていないところが出てくるのをうまく整理していかないとお金がもったいないので、回収できる方向にするためにはどうしたらいいか。今のところ、東向も餅飯殿もシャッター商店街になっていませんが、奈良町の活性化につながることを求められます。市外、他府県から入っていただくしかないだろうなという思いがあります。一方、外国人の方が非常に増えてきて、建物の向い側のシャッターをあけて自転車を停めたり、隣の砂利道のところに自転車を停めたりする、変わった方がいます。外国人を対象にした闇レンタカーが存在するという話も出ていますし、奈良町でも結構目立ってきています。話を戻しますが、空き家の使い方、条件というものが整備されていくといいかと思います。
会長	9ページ、10ページも委員の方に有識者コメントをいただくことになっておりますので、お二人の委員の方のコメントを何うような形で進めていただければと思います。事務局よろしいでしょうか。
事務局 会長	わかりました。 次に1期の評価ですが、今後の対応まで見ながら若干コメントを書ける欄だと思いますので、今のご発言を踏まえて有識者コメント欄に記していただければと思います。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。では本件以上です。
事務局 会長	3. 第2期 奈良市歴史的風致維持向上計画（案）について 説明（略） 関係省庁との調整を踏まえて変更になった部分があります。まず重点区域の考え方を変更するというのが今回一番大きいと思われます。あとは奈良市の各種計画と計画立案中のものなどが追記されています。全般について、いかがでしょうか。前回のご意見が反映されているかどうかをご確認ください。
委員	321ページの歴史的風致形成建造物指定及び候補一覧について、指定されているものは備考欄に何年何月指定と書いてあると思いますが、空欄になっている、指定と書いていないものはすべて候補ということですか。どういうふうに表を見たらいいのか教えていただきたいです。
事務局	備考欄に日付と指定の文言が書いてあるものは指定された建造物、空欄になっている、もしくは日付と指定の文言が入っていない建物については候補となっております。
委員	日付の入っていないものは候補ですか。
事務局	はい。そうです。
会長	他いかがでしょうか。
委員	287ページや257ページの、各種の市民団体等、活動団体との連携など、体制整備について、前回もご意見が出たところでしたが、結構具体的な施策になりそうところまで書かれていて、イメージがよくできました。287ページにいろいろな団体の名前が出ていますが、文化財所有者が独自に行うような企画もあると思います。

	今年も奈良町見知ルなどが行われているのと同じ時期に、例えば浄土宗のお寺が独自に拝観を企画されたり、ならまちでいうと元興寺や十輪院などが、それぞれ独自に企画されることもあり、文化財所有者のことを気にしておいた方がいいかなと思っています。秋には奈良町見知ルがひとつの核になっているのですが、一方で同じ時期にすごく近いエリアで行われているいろいろな企画がまだ連携できていない、それぞれされているなという印象もあります。そのあたりが今後連携強化、体制整備というなかで改善されていくと、いろいろな情報を得るときに、住人あるいは外部の観光客の方にとってもいいのかなと思っています。 284ページに防犯のことを盛り込んでいただきましたが、市の文化財課あるいは奈良町にぎわい課が関与していないところや、普段管理者のいない施設の公開などのときに防犯は常に気になってきますので、そういう公開活用と表裏の関係として防犯ということ盛り込んでいただけたのかなと思いました。 78ページは歴史的風致という考え方に即して書き直されたと思いますが、寺社で寺社の建物を使って宗教行事をすること自体は普通のことです。例えば歴史的建造物を有する社寺の境内と、ものや伝統文化が融合するという表現は、よく考えると普通のことという気がします。宗教的なものと伝統文化、別々のところにあったものが融合しているということではなくて、日本の伝統文化の代表のようにになっている能やいろいろな芸能が寺院社会の中から生まれて育まれてきた、それが原点のようところで生き続けている、残されている、もともと一緒のところに出てきたのが今は何となく別々に把握しがちですが、それがこの場でまさに融合したままの状態で生きて残されている、そこに奈良の寺社の伝統芸能の価値があるのかなという気がします。言わんとしていることは同じですが、そちらの価値を前面に出せたら、奈良の大きな寺社の全国にも誇れるような文化の価値が生きるのかなという気がします。特に間違いということではなくて、表現上そういう考慮をいただけたらということです。
会長	概要版の「本計画では第1期計画に引き続き、今後10年間の歴史的風致の目標や方針を定めている」の「歴史的風致の目標や方針」というところに、歴史的風致を維持するとか向上するといった動詞を入れた方が日本語としていいのではないかと思います。歴史的風致を維持向上するうえでの目標や方針、などとしてはどうでしょうか。
事務局	わかりました。
会長	現状では盛り込めませんが、2028年に世界遺産登録30周年を迎えることを意識しながら、途中で事業がみえてきた段階で記載するなら記載する、柔軟に途中で追記できるようなことがあれば随時追記していく、ということでお願いします。
委員	世界遺産に関連して、世界遺産30周年の観光活用ということだけ書いてありますが、奈良文書についても採択から30周年になり、世界遺産の保存管理活用のあり方みたいなことを再検証するということがなされていますので、必ず併記しておくべきかなと思います。 まだ「崇敬」という言葉が残っていたり、直していただかなければならない部分があります。

	歴史的な市街地に歴史的風致が形成されているわけですから、他の委員がおっしゃった、都市全体の住環境のあり方、防災、住民が多様化してくることの問題などが必ず並行して起こってきているわけです。オーバーツーリズムということもあります。本当は歴史的風致を維持向上することによって、わかりやすく言うと建物を直すことによって防災性が高まっていくとか、新しい空き家にいい人が入ることによってまちの活気が出るとか、安心安全に近づいていくといったように、魅力的な美しいまちをつくっていくだけではなく、それを支えている地域社会、建物の安心安全、そういったことにつながっていくというのが歴史的風致維持向上の本来の大きな目的だと思うのです。そういうところがどうしても個別事業になってくるとなかなか見えてこないところがあって、他の委員が心配されるような話になります。実際、建物の工事では個々の防災性能や耐震性能まで、一つ一つ追っていくことがあって、お住まいの方からすると常にそういうことにセンシティブにこの問題を捉えているということがあります。パブコメでも、困っていることがこの地域にあるのですから、意見が出てくるかもしれません。本来の歴史的風致維持向上計画の範囲には十分なっていると思いますが、そういう時に、この計画と地域の住環境の向上、安心安全の向上ということは実はリンクしているということを考えて、答えを常に用意しておいた方がいいし、具体的にこうしていますということまで言えたらもっといいかなと思いました。
会長 委員	防災については、5章のなかに奈良市地域防災計画とも連携するとあります。 少し範囲は超えているのですが、すぐにそういったことにリンクする話になるのではないかと思います。
会長 委員	文化振興全般とどれだけ交わっているかということです。 お店が空き家になるとか、入っておられるけれどもそこには住まわれていないので自治会には入らないといったことがあります。古くは、隣の人が自分の子どもの面倒をみている時代がありましたが、今はもう、住んでいる方、もしくはそこに店だけ持っている方は、防災意識とかコミュニケーションが整わない時代になってきたように思います。自治会のあり方自体が変わってきています。祭りをされている地域は神社を中心にまとまりがあり、活性化したい場合にはそういうことも楽にできます。別の地域ではそういうことが少なく、同じ奈良町のなかでもずいぶん違います。防犯の意識は大分変わってくると感じます。
委員	人口が減少するなかで、協議会の役割が、ただまちをきれいに直せばいいというので終わるのでは、これから先意味がありません。入っていただくのは当然他府県の方になります。あとは相続により持ち主が住んでいないが家はある、ぼろぼろだから誰か直してくれないかということも今後出てくると思いますので、それを協議会でどういう線引きをするか。そうなったときの課題、直すための資金、防犯等、もう少し踏み込んだやり方にすべきではないかと思いました。 前の委員がおっしゃったように、他府県から移り住むということが重要になってくると思うのですが、手を入れて直した物件に非常にお金がかかっている、賃料を非常に高く設定しなければならない、維持しようと思っても安い賃料では維持できないというのが大家の苦しいところです。最近入られた二軒とも、二拠点でお住ま

会長	いの方が使われています。二地域居住というのがこれから広がっていくような形で動いていくと思います。そういったところにも力を入れていくと、奈良には古い文化財があるだけではない魅力がたくさんありますので、可能性が非常にあるのではないかと考えています。 他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。おおよそご意見いただいたということで本件は終了させていただきます。ご意見ご指摘のあったところは、案に対するご意見と全般についてのご意見があったかと思います。現状ほぼほぼこの案でパブコメにはかるということでご異議なかったと思いますのでこれで進めさせていただきます。本日は以上でございます。進行を事務局にお返しします。
事務局	本日は長時間にわたり、ご協議いただきありがとうございます。この協議の内容を参考に資料の修正をまいります。次回協議会は、来年2月を予定しています。日程日時につきましては、改めて日程調整させていただきますので、よろしくお願いします。これをもちまして、第16回なら歴史まちづくり推進協議会を閉会いたします。ありがとうございました。 <協議会終了>